

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年11月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	千曲市役所	代表者名	市長 岡田 昭雄
担当者部署	企画政策部総合政策課	連絡先電話番号	026-273-1111
担当者役職	係長	担当者氏名	唐木田 義明
住所	387-8511 長野県千曲市杭瀬下2丁目1番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当市の情報化計画策定のための研修を基としたワークショップを実施いただき、職員が理解しやすく、実際の課題として意識を持って取り組むことができた。 また、オープンデータの収集と市に求められるオープンデータの作成、分析したデータの表現方法についてアドバイスをいただき大変参考になった。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年11月4日	10時00分	16時30分	90	300
3-2. 派遣場所	会場名	千曲市役所		最寄駅	しなの鉄道 屋代駅
	所在地	長野県千曲市杭瀬下2丁目1番地		最寄駅からの交通手段	公用車(送迎)
	派遣形態	フォローアップ(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 33人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> データ利活用のプロセス(基盤)が整備されていない。 施策指標が近隣団体の取り組み状況やアンケート調査結果、勤や経験の域を超えることができない。 オープンデータも含むデータの充実が見込めない。また、データ利活用の必要性が理解できないので、スマートシティ/スーパーシティによるまちづくりを積極的に検討することができない。 	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員が市役所や外部で保有しているデータを有効活用し、住民サービスの向上や根拠に基づく政策立案等の推進を目指す。また、官民データ活用推進基本法に基づいた施策例を参考に、将来のスマートシティによるまちづくりの実用化につなげる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	EBPMの実施演習として、当市の証明書発行サービスに関して、時間、場所の制約のないサービスを提供しなければならないことの証明をテーマとしたワークショップを実施いただいた。オープンデータの収集、仮説の分析、整理、証明する手法を学んだ。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 市や外部が保有しているデータを有効活用することの重要性。 仮説を実証することの必要性。 情報を分析するためにデータを比較すること、傾向を探ることの重要性。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	データの利活用法、仮説を実証する手法を学んだが、日々の業務に反映できるよう身に付けるには研鑽が必要であり、今後も研修を行うなどして理解を深めていきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは実施していないが、今後このような手法が必要だと認識し、再度研修を受けたい、もう少し実践的な研修を受けたいなどの意見が寄せられた。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	地域が抱える様々な課題の解決や地域活性化・地方創生を実現するための手法としてEBPMを取り組んでいく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

